

梅咲く兼六園から感じる春の息吹と、暮らしを守るガス供給

この冬は寒暖差の大きい日が続き、急な冷え込みによって暖房需要が一気に高まる日が多くありました。

特に1月下旬の強い寒気では積雪が増え、配送車両の安全確保や容器周辺の除雪に時間を要するなど、ガス残量の管理には例年以上の緊張感を持って対応する日々となりました。3月に入り、金沢にもようやく春の兆しが見え始めています。兼六園の梅林では紅梅・白梅が咲き、雪吊りの残る景色に彩りを添え、訪れる人々に早春の息吹を感じさせています。

とはいえ、寒の戻りで暖房の使用はまだ続きます。気温差の大きいこの時期はガス消費量も変動しやすいため4月いっぱいにはガス切れ防止に万全を期して対応してまいります。

早朝の暗い時間帯からの作業が続きますが、配送員一同、お客様の安心で快適な暮らしを支えるため、日々懸命に業務にあたっています。



 エナジ-サポート石川

梅咲く兼六園から届く春便り——季節の変わり目とエネルギーの支え